

ワイヤーメッシュ柵の設置によるイノシシの被害防止対策

1 要旨

宇部市二俣瀬瓜生野地区は宇部市の中北部に位置し、水稻を中心に小麦や施設・露地野菜の農業生産が行われており、イノシシによる食害防止のためワイヤーメッシュ柵を設置していたが、老朽化が進み、個人での対応では困難となってきた。

このため、地区で協議し、ワイヤーメッシュ柵の新設や、耕作放棄地の草刈りによる緩衝帯の整備を進めるとともにイノシシ捕獲用の箱罠を設置することにより、被害の軽減を図る。

2 地区の概要

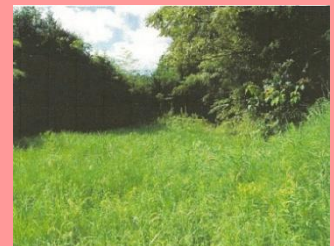
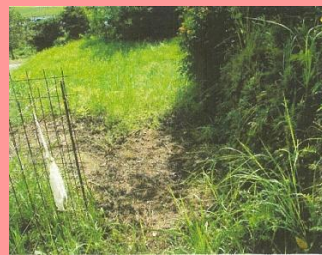
地区名	宇部市二俣瀬 瓜生野地区
主な作物	水稻・小麦・サツマイモ
加害獣種	イノシシ
対策実施年度	令和 7 年度



3 被害の状況と課題

イノシシが水稻の登熟期に入り込み、踏み荒らす被害が発生している。

複数個所で痕跡が確認され、地区内で被害が分散している。



4 取組内容

(1) 事前現地説明会、関係機関との協議

地区の代表者や世話人と被害防止の為の話し合いを行い、地区住民には対策実施への協力依頼を行った。被害にあった場所の現地調査を行い、調査結果を関係機関と共有を行い、対策を検討した。

(2) 対策の実施

イノシシの侵入防止の為に新しいワイヤーメッシュ柵を設置した。また猟友会による駆除活動、罠設置による捕獲実施を行った。



5 取組の成果

ワイヤーメッシュ柵の設置により、イノシシ被害が抑制されることを期待。

【被害額】

(千円)

区分	事業 実施前	令和8年度		令和9年度		令和10年度	
		実績	増減	実績	増減	実績	増減
イノシシ	400			—	—	—	—

6 地区代表者のコメント

新たにワイヤーメッシュ柵を設置したことにより、イノシシの侵入が減ることが見込まれる。毎年イノシシの被害がひどいので、被害防止につながることに期待したい。

今後も、イノシシの被害防止策については、試行錯誤していきたい。

7 今後の取組

捕獲用箱罠を効率的に利用するためには生息域、出没域の状況把握が重要であるため、猟友会や地域住民と連携し、地域一体となり被害防止に対応し、効率的に捕獲ができる場所に箱罠を設置する。